

支 部 情 報

美 祢 支 部

共に伸びる

温かい小学校長会

美祢市小学校長会は、美祢市内十七校の小学校長で構成されている。美祢市内の小学校は小規模校が多く、市内で一番規模の大きい大嶺小学校で児童数四百名弱、百名規模が二校、残り十四校は百名以下の児童数である。一年の児童数も少なく、十二校が複式学級を有している。

本小学校長会は、原則月一回の定例会を開催し、旧美祢市、旧秋芳町、旧美東町でバランスを取りながら会場を設定している。定例会では、市教委などからの説明・指示伝達に続き、会務報告、県・市小教研関係の報告・連絡、



その後、情報交換・研修を行っている。情報交換では、本地域は前述したように小規模校が多いため、小規模校ならではの悩みを持ち寄ることも多い。互いの悩みをざっくばらんに出し合うことにより、いろいろな経験をもった会員からの示唆でよりよい解決策を見いだすことができることは、本小学校長会によさである。

研修に関しては、昨年度は秋季研究大会第十分科会「危機対応」においての発表に向けて研修を深めた。

当日は「様々な危機への対応」美祢市の特性を生かした取組からと題して発表した。その中で、校長の役割として以下の四点を提案した。(一)危機意識の共有や計画的な研修、体制づくりなどの「危機の予測と未然防止」(二)様々なネットワークづくりや信頼関係づくりなどの「情報収集」(三)的確な判断、指示などの「意志決定」(四)家庭・地域・関係機関への「情報提供」による抱え込み意識の革新である。

この発表に向けての研修を通して各校の取組の詳細を知ることができ、発表した我々自身も勉強になった。

今後も互いの悩みを遠慮無く出し合い、共に伸びていける温かい小学校長会となるよう、会員一同精進していきたい。

(嘉万小学校 久保田 尚)

支 部 情 報

支 部 情 報

萩・阿武支部

ふるさとを愛し、志を高く抱く

子どもの育成をめざして

萩市学校教育の中心目標として「ふるさと萩市を誇りとし、志を抱き生きる力をもった子どもを育成」があり、阿武町教育の推進方針として「ふるさと愛を基盤とした夢と知恵を育む学校教育の推進」がある。

そこで、本支部では、「ふるさとを愛し、誇りとし、夢や知恵を育み、志を抱き生きる力をもった子どもの育成」をめざして、学校教育を推進している。

本支部は、萩市二十一校、阿武町二校の計二十三校で構成されている。そのうち、小中兼務校が六校あり、中学校長会の情報を取り入れながら研究を進めている。

定例会は、月一回程度開催している。中でも七月には、萩市にある三島(見島、相島、大島)のいずれかの学校を訪問し、地域の方の講話を聞くなどして、現地研修を実施している。

定例会の主な内容としては、萩市、阿武町両教育長の講話や、研修テーマを「他校の学校経営に学ぶ」ということで設定し、本年度退職される校長の

講話や各学校の学校要覧や学校運営基本計画などを持ち寄っての研究協議を行っている。経験豊富な校長の講話や他校の学校運営に対する考えに接することは、それに対する悩みや迷いを払拭するための一助となっている。

また、本年度は、来年度県校長会秋季大会の開催担当支部としての組織づくりや分科会発表に向けての準備を進めることになる。

本支部の提案発表は、第一分科会「経営ビジョン」で、研究課題は「先見性のあるビジョンに基づく創意ある学校経営の推進」である。先に取り上げた「他校の学校経営に学ぶ」での研究成果を基にして、さらに研究を推進し、年度末までには、骨子を固める予定である。

これからの未来をたくましく生きる力を育てるための明確な経営ビジョンを掲げ、「ふるさと愛」や「志高く」をキーワードとして、今後とも充実した研究を推進したい。



(白水小学校 河崎知治)